

一般質問



伊藤 宗次 議員

問 国保税資産割廃止は町費負担で

答 一般会計からも繰入れしている

問 国保の県化で町の国保税水準は維持できるか。

答 **健康福祉部長** 基本的に現状維持していく形で制度設計している。

問 国保税資産割課税廃止の減収額は。

答 6000万円ほど。

問 廃止による減収を町民に押しつけるのか。

答 運用上必要な額を、利益割と所得割に転嫁。

問 町長の政策であり、町で負担を。

答 一般会計からも繰入れしている。

問 減収分を所得割、個人均等割、世帯平等割をなぜ増税する。

答 国保制度には運用上、自業主負担がないため。

問 国保税増税だ。任意減免制度の充実を。

答 状況を見ながら制度の充実を考える。

問 国保税滞納世帯に短期



空家の調査

問 保険証交付の内容は。

答 通常よりも短い、3カ月期限のものを発行。

問 短期保険証交付の対象から中学生までは除外を。

答 次の更新では、高校生以下は通常と同様2年期

問 限を検討。

答 子育て支援で高校卒業まで医療費無料化で子育て支援の充実を。

問 **町長** 中学を卒業して働いている方もあり、将来にわたって検討。

問 管正の適正な家屋等管理条例制定を

答 具体的必要に応じていく
見じ判断していく

問 幸田町でも管理不全な空家が増えているが実態把握は。

答 **建設部長** 市街化区域で6件、調整区域で23件。

問 国はガイドラインを示し、市町村は法律に基づき空家等対策計画策定だが、取り組みは。

答 幸田町空家対策協議会で、個別状況を踏まえて総合的に判断。

問 適正管理条例の制定を。

答 空家の発生状況を引き続き調査し、具体的な必要

問 に応じ判断していく。

問 老朽危険家屋除去等の費用に補助を。

答 平成29年度、既に6件行った。

問 その所有者に除去、修繕、立木等の伐採等の措置を助言、指導、勧告、命令できるがその取り組みは。

答 所有者に草刈りや剪定、修繕を依頼。

問 周辺住民からの通報や苦情は。

答 平成26年度から29年度までで23件。草木が生い茂り蜂や蛇が発生、倉庫が倒れかけているなど。

問 町に住宅政策らしき政策はあるのか。

答 国の対策や他自治体の事例を研究し対応。

問 足を踏み出さぬは知恵がないからだ。

答 施策が後手後手に回らぬよう対応。

一般質問



池田 久男 議員

問 大須賀町長3選出馬の決意は

答 町民の理解で次期も担当したい



改修が進む広田川

問 大須賀町長は、総合体育館早期建設など、解決しなければならぬ行政課題が山積している。引き続き強いリーダーシップを発揮され、次期3期目の行政を担当していただきたい。その決意などを問う。

答 次期3選出馬の決意は、町民の理解がある。

問 大須賀町長は、総合体育館早期建設など、解決しなければ次期も担当したい。法人町民税の考えと法人税割の見込みは。

答 起債の対象とならない。

問 ふるさと寄附金の使途は。

答 景気や企業の業績による年度間の変動が大きく、安定財源として見込めない。

問 景気や企業の業績による年度間の変動が大きく、安定財源として見込めない。

答 景気や企業の業績による年度間の変動が大きく、安定財源として見込めない。



指定ごみ袋の値下げを

問 大きな施設修繕に活用。広田川、菱池遊水地の早期整備と進捗状況は。

答 新田橋の改築、中吉橋の河道拡幅を実施。菱池遊水地は地権者代表会を組織し、関係機関と調整し準備を進める。

問 新田橋の改築、中吉橋の河道拡幅を実施。菱池遊水地は地権者代表会を組織し、関係機関と調整し準備を進める。

問 ごみ袋の無料化配布は。環境経済部長

答 ごみ袋の無料化配布は、ごみ減量の意識や行動が定着し、減量化が図られてきた。値下げしても排出量の増加に結びつくとは限らないため、具体的に検討を進める。